

## 海外安全対策情報(ウルグアイ)2022年第1四半期(1月～3月)

### 1 治安・社会情勢

当地の治安情勢については、2021年1月～3月と比較すると犯罪発生件数が増加しています。引き続き殺人、強盗、窃盗被害に注意が必要です。

また、ウルグアイ各地のコロナ対策、治安対策及びDV事案対応件数の増加のため、慢性的な警察官の人員不足が生じているところ、日頃から安全対策の意識を上げることが重要です。

### 2 一般犯罪、凶悪犯罪の傾向

#### (1)殺人・強盗・窃盗

2022年1月～3月の殺人、強盗及び窃盗発生件数は、前年同時期と比較すると殺人+33.3%、強盗+6.3%、窃盗+3.2%となっており、強盗以外の犯罪発生件数が増加しています。特に殺人発生件数が大幅に増加しており、ウルグアイ内務省の発表によると、同期間における殺人発生件数96件のうち、52件がモンテビデオ県、14件がカネロネス県、8件がリベラ県でした(22件はその他の県の合計。)。殺人の原因は、主に犯罪組織間や麻薬密売に関わる抗争や報復によるものが47%を占めており、DV及びDVに起因するものが14%、強盗や占拠行為によるものが4%、その他が4%、原因不明が23%です。また、モンテビデオ県における麻薬犯罪対策強化のため、麻薬組織の活動拠点はカネロネス県、サン・ホセ県、マルドナド県へ移動しており、その影響でそれらの県における犯罪発生件数が増加しています。

昨今の一般犯罪は昼夜問わずに発生しており、銃器や刃物を使用した事件も増加しています。(ウルグアイ国内において登録済銃は約60万丁であり、同等数の銃が不法に出回っていると言われていたため、国民の3人に1人が銃を所持している計算となります。)

また、従来比較的安全と言われていた地区においても事件が発生しているため、殺人、強盗、窃盗等の犯罪被害には引き続き注意が必要です。

#### ○2022年1月～3月の犯罪統計(内務省発表)

- ・殺人 : 96件(前年同時期に比して 33.3%増)
- ・強盗 : 6,463件(前年同時期に比して 6.3%減)
- ・窃盗 : 30,444件(前年同時期に比して 3.2%増)
- ・DV : 10,141件(前年同時期に比して 11.2%増)

#### (2)事案一覧(邦人在留エリア対象)

別紙参照。

### 3 テロ・爆発事件発生状況

事件は報告されていません。

### 4 邦人被害の犯罪発生状況

2022年第1四半期における邦人被害は発生しませんでした。

### <注意点>

強盗事件等は、基本的には夜間の人通りの少ない場所において発生する傾向が強いですが、時間や場所を問わずに発生しています。また、昨今の犯罪には拳銃等が凶器として利用されることが多くなっています。外出する場合には様々な形態の犯罪に遭遇する可能性を念頭に、周囲に警戒しながら行動するよう心がけてください。

## 5 日本企業の安全に関わる諸問題

昨今、ウルグアイ国内において、けん銃や凶器を使用した強盗事件が多発しています。また、一般的に外国人は「裕福」と見られているため、日本企業及びその関係者が強盗や誘拐の標的となる可能性も排除できません。仮に強盗事件に遭遇した場合には、抵抗する・大声を上げる・逃げる等犯人を刺激するような行動はくれぐれも避けてください。

また、日頃より「安全のための3原則」である、「目立たない」、「行動を予知されない」、「用心を怠らない」を心がけ、「自分の身は自分で守る」ことを意識しながら行動することが肝要です。

<犯罪事案一覧(邦人在留エリアを対象とした主なもの)>

発生日時	発生場所	事案種類	概要
1月6日 夜	モンテビデオ県 ウニオン地区	殺人	10月8日通りで、サッカーチーム:ナショナルのサポーター1人が銃殺された。殺害された被害者は、2016年のペニャロール(サッカーチーム)創設記念日に、カネロネス県サンタ・ルシア市内で発生したペニャロールのサポーター殺人事件の共犯者として懲役刑となり、最近出所したばかりだった。
1月7日	タクアレンプ県	麻薬	国道26号線336キロ地点所在の農場内で、トラックから荷卸された薪に隠されていたコカイン340kg(ウルグアイ国内では3百万ドル、国外では1千万ドル相当)が押収された。警察によると、同コカインはリベラ県内の農場でトラックに積載されたとのことで、同農場に運ばれたルート等を調査中とのこと。なお、同押収に関与していた未成年を含む3人が警察に逮捕された他、リベラ県の農場の所有者や、関与した者の行方を追っている。
1月10日	モンテビデオ県 ウニオン地区	殺人	自転車で走行中の少年(17歳)が頭部に銃弾を浴び、死亡した。事件発生当時、同少年はペニャロールのユニフォームを着用していたこともあり、同地区で6日に発生した殺人事件との関係性(フォーリガン同士の抗争)を調べている。
1月11日	カネロネス県 ラス・ピエドラス市	殺人	スラム街(Corfrisa地区)で男性1人(身元不明)が殺害された。
1月15日 11:15頃	カラスコ国際空港	麻薬	カラスコ国際空港で、スペインへ渡航しようとした女(20歳)のスーツケースからコカイン約5キロが押収された。コカインは二重底状のスーツケース内の板の下に隠されていた。コカインの他にも携帯電話や現金(ウルグアイペソ及びユーロ)が押収された。
1月15日	リベラ県	殺人	銃殺された遺体(33歳の男性)が路上で発見され、21歳の男が容疑者として身柄を拘束された。また、その後の調査で、身柄を拘束された男の自宅で、銃殺された他の遺体(性別、身元不明)が発見され、警察は同住宅にいた17歳の少年を容疑者として拘束した。

1月16日	モンテビデオ県 バリオ・スル地区	治安悪化	廃墟となった建物が麻薬の密売所として利用されたり、空き地が犯罪者の隠れ家となったり、同地区の治安悪化が懸念されている。特に夜間においては、危険性が更に増す可能性がある。また、ホームレスも増加しており、焚火によるボヤ騒ぎなども多数確認されている。
1月20日	リベラ県	殺人	Bella vista 地区内の空き地で、大量に血を流して倒れている男性(18歳)の遺体が発見された。遺体には複数の銃弾の跡があり、殺人事件として捜査している。
1月23日 夜	リベラ県	殺人	Mandubí 地区の路上で男性(35歳)が銃殺された。警察によると男性は薬物を使用しており、購入後殺害されたとみられている。また、同男性の仲間と思われる他の男性も銃弾2発を首と肩に受け病院で治療を受けているとのこと。
1月23日 早朝	モンテビデオ県 コルドン地区	性犯罪	女性がディスコで知り合った男の家を訪れた際に、家の中にいた男2人を含め、合計3人から強制性交被害に遭った。通報を受けた警察官らが犯人の男3人を逮捕。
1月30日 早朝	モンテビデオ県 カラスコ地区	強盗	デルガド大統領府長官宅に銃を所持した男(30歳、前科あり)が格子を損壊し、窓から侵入。金品を奪って逃走した後、カラスコ・ノルテ地区で警察に逮捕された。事件発生当時、家にいた家族に怪我はなかった。
2月4日(金)	モンテビデオ県 プンタ・カレータス地区	飲酒運転	ウルグアイ労働総同盟(PIT-CNT)総裁が運転中、路上駐車していた車2台に衝突。調査の結果、総裁の血液1ml中のアルコール濃度が1.53mgであり、飲酒運転であったことが判明した。
2月7日 19:30頃	モンテビデオ県 サシャーゴ地区	強盗未遂	インターネット上で車を販売しようとした男性(32歳)が、車を見せるために指定された場所へ到着した際、購入希望者と装っていた男2人に銃を突き付けられ車を奪われそうになり、所持していた銃を発砲。犯人の男1人が死亡し、他の男(21歳)は警察に逮捕された。
2月9日	モンテビデオ県 マルビン・ノルテ地区	抗争	同地区で犯罪グループ間の抗争が発生し、偶然その場に居合わせた少年(8歳)の肩に銃弾が当たり、病院へ搬送された。
2月11日	モンテビデオ港	麻薬	ブラジルの Parangua 港から出港した貨物船(イタリア船籍)で輸送された車2台の内から、コカインと思われる薬物約200kgが押収された。

2月11日 3:15頃	モンテビデオ県 ラ・テハ地区	殺人	路上で車が炎上しているとの通報を受け、駆け付けた消防隊により無事消火されたが、車のトランクから足と頭を縛られ、頭部に銃弾を浴びた遺体が発見された。車はパラグアイのナンバープレートが付いていた。
2月15日 夜	モンテビデオ県 ポシートス地区 (Av. Brasil y Simon Bolivar)	強盗	酒屋に男2人が押し入り、店員の男性を銃で撃ち、レジから現金を奪い逃走。
2月17日 3:00頃	モンテビデオ県 パルケ・ロド地区 (Rambla Presidente Wilson y Av. Sarmiento)	強盗	ランブラ通りを歩行していた男(20歳)女(18歳)が男(38歳)に小銭を要求されたが、拒否したところナイフで切り付けられ、所持品を奪われた。男性は肩と顎に、女性は腰に切り傷を負い、病院で手当を受けた。なお、通報を受け駆け付けた警察官により、現場から数ブロック離れた路上で、寝ていた男の身柄を拘束した。
2月23日 12:00頃	モンテビデオ県 プンタ・カレータ ス地区 (José Ellauri y Solano Garcia)	強盗	女性(79歳)がショッピングセンター周辺に路駐していた自家用車に乗ろうとした際に、バイクで近付いてきた男に車内に置いていたハンドバッグを奪われた。女性に怪我はなかった。
2月23日 夜	モンテビデオ県 ブラソ・オリエン タル地区 (San Martin y Fomento)	強盗	ウルグアイ労働総同盟(PIT-CNT)副総裁が、自宅から車で出た直後に、付近を走行していた車から降りてきた男2人に銃で脅され、車を奪われた。
3月2日	モンテビデオ県 ポシートス地区 (Plácido Ellauri)	強盗	刃物を持った男(30歳)が強盗目的で男性(71歳)の自宅に侵入したが、近隣住民数名が取り押さえられ、警察に身柄を引き渡した。
3月6日	モンテビデオ県 ラ・テハ地区	殺人	車で走行中であつた2人が、バイクで近づいてきた2人組により銃撃を受け、助手席に乗車していた1人が死亡した。
3月7日	モンテビデオ県 シウダ・ビエハ地 区 (Bartolme Mitre y Sarandí)	強盗	ホテルのレセプション現金を奪い、身を隠すため変装し逃走中であつた犯人が、捜査をしていた警察により逮捕された。その後、犯行時に着用していた衣類や財布等も押収された。

3月7日 深夜	モンテビデオ県 プラド地区	強盗	「男女(両名とも24歳)が銃を突き付けられ金品を奪取られている」と警察に通報が入ったため、現場に警察官が到着すると、まさに犯行に及んでいるところであり、警察に気が付いた犯人は逃走を試みたが、警察官たちにその場で取り押さえられた。犯人は6発の銃弾が入ったけん銃を所持していた。
3月15日	モンテビデオ県 ペニャロール地区 (Edison y Watss)	殺人	同地区の路上で男性の遺体が発見された。警察の調べによると男性は18歳で、体には銃弾を受けた痕があった。
3月22日	モンテビデオ県 パルケ・ロド地区	窃盗	同地区を巡回していた警察官が盗難登録されている車及び犯人を発見。警察に気が付いた犯人は逃走したが、監視カメラによる追跡により犯人は逮捕された。
3月26日	モンテビデオ県 シウダ・ビエハ地区 (Bartolomé Mitre y Sarandí)	不法所持	同地区に所在しているバーにおいて、刃物や銃を不法所持していた18歳と20歳の男を逮捕した。警察は同地区の治安悪化を指摘している。
3月30日	モンテビデオ県 ブセオ地区 (Av. Italia y Francisco Simon)	銃撃	スピード違反をした2人組が乗ったバイクを警察が追跡中、1人が警察に向けて発砲したため警察が応戦する形で打ち合いとなり、犯人の1人が死亡、もう1人は逮捕された。犯人はデリバリー会社のカバンを携行し、麻薬を隠し持っていた。 また、犯人が使用していたバイクは盗難登録されていた。
3月30日	モンテビデオ県 クルス・デ・カラ スコ地区	強盗	同地区所在の医療施設の警備にあたった警察官が背後から狙撃され、所持していた武器を強奪された。狙撃された警察官は、防弾チョッキを着用していたため、命に別状はなかった。